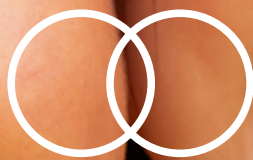


NISHIO



ムゲンのミライ

A Limitless Future

西尾市制65周年記念市勢要覧

「ムゲンのミライ」に 出会えるまち 西尾

豊かな自然、脈々と受け継がれる歴史、勢いを増す産業。

さまざまな魅力があふれる西尾のキーワードは

「ムゲンのミライ」。

ここでしか見つけられない

ムゲンの可能性があります。

ここでしか切り拓けない

ミライがあります。

西尾にしかないムゲンのミライを

ぜひ確かめてください。



- 4 伝統と新しさの融合。
抹茶に込めた西尾の心
〔特産／西尾の抹茶〕
- 6 海と大地の恵み。
西尾産の逸品が勢ぞろい
〔特産／逸品・名品〕
- 8 紙の手触り、香り、めくる音。
感性を刺激する
古書との出会いが待っている
〔歴史・文化／岩瀬文庫〕
- 10 郷土に刻まれた
先人の足跡に思いをはせる
〔歴史・文化／文化財〕
- 12 夜空に灯る郷土の誇りは
人によって守られ、受け継がれる
〔祭り・イベント／三河一色大提灯まつり〕
- 14 人が集い、祝い、祈る。
祭りには心を一つにする
力がある
〔祭り・イベント／年間祭時記〕
- 16 ものづくりのまち西尾
ただいま進化中
〔産業／ものづくりDNA〕
- 18 西尾の産業を支えるのは、
技と思いが宿った「手」
〔産業／働く人〕
- 20 ゆるりと時が流れる佐久島で
のんびりアート巡り
〔暮らし／佐久島アート〕
- 22 遊びたい訪れたい
暮らしたいまち西尾
〔暮らし／住みよさ〕
- 24 未来設計図 西尾のまちづくり
- 26 西尾歴史新聞―年表―
- 28 西尾はみんなに自慢したい
魅力の宝庫―マップ―
- 30 数字で見る西尾の暮らし

Nishio offers a limitless future to all

From its abundant nature and venerable history to its growing industry, Nishio possess boundless appeal. The keyword of Nishio is "a limitless future."

There are limitless possibilities which are unique to Nishio. There is a future that can only be blazed here.

Experience the limitless future which is unique to the fine city of Nishio.



伝統と新しさの融合。 抹茶に込めた西尾の心

ひとときの服におもてなしの心を添えて、
今日も人から人へ
和みと癒やしの時間が提供されています。

西尾茶の歴史と発展

深い緑と上品な香り、まろやかな味わいが特徴の「西尾の抹茶」。西尾市は原料であるてん茶の全国有数の生産地です。温暖な気候、矢作川がもたらす豊かな土壌と川霧が、上質な茶葉を育んでいます。その歴史は古く、実相寺の開祖である高僧聖一國師が、鎌倉時代に茶種をまいたのが起源といわれています。明治時代のでん茶製造技術の導入を経て、大正時代に生産が本格化。昭和30年

代に茶種をまいたのが起源といわれています。明治時代のでん茶製造技術の導入を経て、大正時代に生産が本格化。昭和30年

代には全国有数の生産量を誇るまでになり、現在の発展につながっています。

未来へと受け継がれる「西尾の抹茶」

特産品として定着した「西尾の抹茶」は、平成21（2009）年に特許庁の地域団体商標（地域ブランド）に認定されました。茶の分野で抹茶に限定した地域ブランドとしては全国初。PRや販売活動を通して、「西尾の抹茶」を全国、そして世界へと発信しています。一般的な抹茶よりも深みのある緑色で渋みが少ない「西尾の抹茶」は、飲むだけでなく、和洋菓



茶もみ体験

子の材料にも使われています。和菓子屋やカフェなど、さまざまなスポットで抹茶をふんだんに使ったスイーツを堪能でき、市内の人々から注目を集めています。

市民が抹茶に親しむ機会が多い西尾市。市内には、茶摘み体験や全校茶会を行う小・中学校があります。また、「西尾の抹茶」と特産品を使った「西尾の抹茶なべ」が開発されるなど、抹茶に親しむ機会が新たに生み出されています。時代を超えて西尾の地に息づく、育まれてきた「西尾の抹茶」。和みの時間をもたらずおもてなしの一本は、新たな魅力を備えながら受け継がれ、西尾市が誇る地域ブランドとして発信されています。



「西尾の抹茶」のやさしいほろ苦さは、アイスクリームやチョコレートなどと相性抜群。市内の店舗で味わえます。



地域ブランド
「西尾の抹茶」
ブランドマーク

ムゲンの
ミライ

愛知県内初の
GI登録

First GI registration in
Aichi Prefecture



地理的表示(GI)保護制度は、高い品質と評価を獲得した地域の産品を知的財産として保護する制度。品質が保証された西尾市のブランド商品として広く宣伝できます。

LOVE ♡
MATCHA

**The spirit of Nishio is found in green tea,
a fusion of tradition and innovation**

Production of green tea in Nishio began in earnest in the Meiji Period. Since then, Nishio has grown into one of the foremost production regions of green tea in Japan. In 2009, Nishio green tea was certified as a Regional Brand by the Patent Office.

Cafés and restaurants where you can enjoy green tea are located throughout the city. Nishio also holds events such as tea ceremonies. Events such as tea ceremonies and tea-picking experiences are held for nursery schools, elementary schools, and junior high schools.

Today, green tea is popular even overseas. Green tea from Nishio is spreading throughout Japan and the rest of the world.

海と大地の恵み。 西尾産の逸品が 勢ぞろい

思わず「うまい」となるもの、
心の底から美しいと感じるもの。
西尾の風土と人々の努力のたまものです。

全てが良質のトップブランド

穏やかな三河湾に面した西尾市は、養鰻100年の歴史と伝統を誇ります。矢作川の清流水を使用し、限りなく天然に近い環境でうなぎを養殖。平成19（2007）年に「一色産うなぎ」が地域ブランドに認定され、その名を全国にとどろかせています。

水産業では他に、あさりの採取やのりの養殖が行われています。中でも大粒で身の詰まりがよいあさは大人気。パリッと香ばしく

カーネーション

Carnations

年間約2,460万本の生産量は全国トップクラス。母の日を迎える4月下旬から5月上旬の2週間は、1日平均約20万本が選花・出荷されます。



バラ

Roses

市の花に指定されているバラ。花の大きさや形、色、香りはバリエーション豊富で、多彩な品種が栽培されています。



一色産うなぎ

Isshiki eel

天然の河川の水を使用する一色町の養鰻。うなぎにかかるストレスが少なく、良質な脂と柔らかい皮のうなぎに成長します。

竜の子街道プロジェクト ～UMAMI ROAD～

Tatsunoko Road Project
Umami Road



西尾、半田、碧南、常滑の4市は、古くから醸造業が盛んな地域です。今、その4市が連携して醸造文化を活用した新しい観光戦略に取り組んでいます。酒、みそ、しょうゆ、みりん、酢が持つ「うま味」や和食の魅力を探る旅が楽しめます。



竜の子街道
UMAMI
ROAD
Roots of Washoku

Blessings of the sea and land A bounty of exquisite flavor produced in Nishio

Abundant sea food such as eel from the Isshiki District, which accounts for 20% of eel production in Japan, and Mikawa Isshiki Shrimp Crackers, which use akashi shrimp from Mikawa Bay. Blessings from the earth include the traditional industries of roses and carnations, potted plants and floriculture, and prefecture-leading amounts of strawberries, cucumbers, etc.

The city of Nishio produces a wide variety of products. Perhaps things which you eat and use during your daily life were actually produced in Nishio?

味わい深い「三河一色えびせんべい」も西尾市が誇る逸品です。
西尾市は、年間を通じて比較的温暖で、夏に雨が多く、冬はほとんど降雪がありません。恵まれた気候と環境の下、古くから農業が営まれてきました。現在、イチゴやイチジクなどの果物、キュウリやトマトなどの施設野菜、米・麦・大豆の水田作物などが栽培されています。また、施設園芸も盛んです。カーネーションやバラなどの花き、コチヨウランをはじめとする鉢物など、四季折々に多種多様な農作物が作られています。



三河一色えびせんべい

Mikawa Isshiki shrimp crackers

明治時代、三河湾で捕れるアカシエビを主原料に、練り物業者が製法を開発したといわれる三河一色えびせんべい。平成30(2018)年に地域ブランドに認定されました。



キュウリ

Cucumbers

西尾市やその近隣で栽培されるキュウリは「三河みどり」のブランド名で親しまれています。近年は、ICTツールを活用した技術の向上に力を入れています。

イチジク

Figs

西尾市を含む西三河地区は県内生産量の50%以上を占めています。市や県、JAグループによる「いちじくスクール」で新規就農を支援しています。



イチゴ

Strawberries

ケーキ用として使われるクリスマスの時期に多く収穫できるよう、促成栽培が行われています。品質が高く、県内トップの出荷量を誇ります。

あさり

Clams

全国屈指の収穫量で、粒の大きさとうま味は最上級。潮干狩りの時期には、多くの家族連れなどが干潟を埋め尽くします。



紙の手触り、香り、めくる音。 感性を刺激する 古書との出会いが待っている

8万冊余りの蔵書を所蔵する岩瀬文庫は、西尾が誇る古書の宝庫です。知識や知恵といった財産を後世へと伝えていきます。

日本の豊かな

書物文化と出会う

知の集積「岩瀬文庫」

西尾市岩瀬文庫は、明治41（1908）年5月6日に実業家・岩瀬弥助が「地域文化の向上と古い書物の継承」を願い、独力で設立した私立図書館が始まりです。戦後に西尾市の施設となり、平成15（2003）年に日本初の「古書ミュージアム」としてリニューアル。平成19（2007）年に登録博物館となり、平成30（2018）年5月6日に創立110周年を迎えました。

岩瀬文庫は重要文化財を含む

古典籍から近代の実用書まで、幅広い分野と時代の蔵書8万冊余りを保存・公開する「知の集積」です。閲覧室では本物の古書の手触りや絵の細やかさを体感でき、その本が重ねてきた長い歴史に思いをはせながら読むことができま

す。また、常設展示や企画展示、講座や講演会などを開催し、書物の文化や古書の面白さを知り、本そのものに親しむ機会を多く作り出しています。

幾多の変遷を遂げ、西尾市の文

化拠点になった岩瀬文庫は、市民とともに歩み、市民に守られてきました。そして現在、岩瀬弥助の願いを引き継いでいるのが岩瀬文庫の学芸員です。資料を「伝える」「生かす」という理念を柱に、本を守りながら文庫の魅力を発信しています。

本を愛する実業家岩瀬弥助によってつくられた岩瀬文庫は西尾市の宝。100年以上の時を経た今も設立当初と同じ場所で、本の魅力を伝えていきます。



岩瀬弥助

慶応3（1867）年生まれ。西三河を代表する実業家。学校建設や慈善活動に多額の寄付を行うなど、西尾の教育や福祉に大きく貢献しました。



西尾市岩瀬文庫
Nishio Iwase Bunko Library

日本の豊かな書物文化との出会いの場でありたいという希望が込められた施設。赤煉瓦の旧書庫は国の登録有形文化財に指定され、年に一度、にしお本まつりで内部を特別公開しています。

ムゲンの ミライ

多世代が活躍する
岩瀬文庫ボランティア
People of all ages volunteer at
the Iwase Bunko Library

岩瀬文庫ボランティアには、幅広い年代の市民が登録。蔵書保存からイベントの運営まで幅広く活動し、岩瀬文庫の発展に力を発揮しています。



にしお本まつり

Nishio Book Festival

ボランティアをはじめ多くの方が運営の中心を担う手作りのイベント。本がテーマの講演会や講座の他、古本市、リサイクル市、本の修理など、本尽くしの催しを目当てに、毎年多くの人が訪れます。



The texture and aroma of paper; the sound of turning pages. A stimulating encounter with ancient texts awaits

Yasuke Iwase, one of the most prominent businesspeople from Nishi-Mikawa, took it upon himself to establish a private library (currently Iwase Bunko Library) in 1908 in order to enhance regional culture and to ensure the continued protection of ancient literature. After World War Two, the library became a city institution. In 2003, it was reopened as Japan's first "museum of ancient literature." The library celebrated its 100th anniversary in 2008.

The collection of more than 80,000 ancient books is open to viewing by the general public.

Nishio is called "Nishio: The City of Book" due to how it holds events such as the annual Nishio Book Festival, a rare event throughout all of Japan.



黄金堤
Kogane-zutsumi

義央が洪水から領地を守るために築堤。堤防のおかげで秋には黄金色の豊かな実りが約束されたことから「黄金堤」と呼ばれています。春には見事な桜並木が堤を彩ります。



華蔵寺
Kezoji Temple

吉良家の菩提寺。12月14日に義央の毎歳忌法要が行われます。境内には吉良家歴代の墓所があります。

きらこうずけのすけよしひさ
吉良上野介義央
Kira Kozuke-no-Suke Yoshihisa

寛永18(1641)年生まれ。穏やかな表情の木像は、義央50歳の時の姿といわれています。華蔵寺蔵。



郷土に刻まれた 先人の足跡に思いをはせる

高家^{こうけ}吉良家による善政が敷かれた西尾の歴史。名君だった吉良上野介義央の治世はまちづくりの礎を築きました。

領民に慕われた 名君「吉良さん」

「忠臣蔵」では、悪役として描かれることが多い義央。しかし、実際には悪役ぶりを示す資料は残っていないどころか、領地の水田開発や治水など数々の善政を行った名君として、「吉良さん」と親しみを込めて呼ばれています。

義央の功績の一つとして名高いのが黄金堤の築堤です。度重なる水害を防ぐため、貞亨3(1686)年に義央の指揮の下建設されました。工事には、領民がこぞって参加したといわれています。また、赤毛の農耕馬に乗って領地を巡回し、領民たちと気楽に言葉を交わしたと伝わるなど、義央は領民に慕われた愛郷心あふれる名君だったのです。





旧近衛邸
Former Konoe House

江戸時代後期、島津斉彬の姫が京都の公家・近衛家に嫁いだことが縁で、島津家によって建てられた茶室と書院。平成7(1995)年に西尾市歴史公園内に移築されました。



うしとらやぐら
本丸丑寅櫓
Honmaru Ushitora Yagura

西尾城は天守が本丸ではなく二の丸にあることが特徴。本丸丑寅櫓は、本丸の丑寅(北東)の隅に建てられた櫓。場内の隅櫓のうち一番高い建物で、三層・高さ約10mあります。

Reflecting on the achievements of predecessors engraved in hometown history

Yoshihisa Kira, was a feudal lord who ruled over Nishio's Kira and Hazu areas during the Edo Period. He was appointed as kouke (master of ceremony), a key position connecting the Imperial Court and the shogunate. He took the court title of Kōzuke-no-Suke and is famous for his involvement in the famous incident of 1703. Yoshihisa is beloved in Nishio as a virtuous ruler who conducted good government.

Historical sites can be found throughout the city of Nishio—for example, Nishio City History Park, which features the citadel from Nishio Castle, which was valued at 60,000 koku (a koku is equal to 150 kilograms of rice). The city also boasts many precious temples and shrines. The history and ideas experienced by our predecessors are deeply engraved into all of these historical attractions.



金蓮寺弥陀堂
Konrenji Temple Midado

鎌倉時代に建立された県下で最古の木造建築物で国宝に指定されています。源頼朝が三河国守護の安達盛長に命じて造らせた三河七御堂の一つと伝えられています。内部には阿弥陀三尊像が安置され、毎年5月に一般公開されています。

吉良家3代が治めたまち

西尾市の吉良・幡豆地区を治めていたのが吉良家です。関ヶ原の戦い後、江戸に幕府を開いた徳川家康は、叔母であるといわれる俊継(けいじ)の子・吉良義定を旗本に取り立てました。義定の子・義弥(よしひろ)以降、義冬(よしふゆ)・義央の3代が幕府と朝廷を結び要職「高家」を務めました。この義央こそが『元禄事件』で有名な吉良上野介です。5代將軍綱吉から「義央公が勤を見習うべし」と言われ、周囲の信望が厚かった義央。高家の中でも筆頭格の地位にあり、領地の新田開発や治水などに取り組みました。

六万石の栄華を残す
西尾城下町

江戸時代、西尾藩六万石の城下町の中心であった西尾城は、承久3(1221)年に起きた承久の乱の戦功によって足利義氏が築城した西条城が前身といわれています。西尾市歴史公園は、その城郭を生かした公園で、復元された本丸丑寅櫓や京都から移築された旧近衛邸など、日本の伝統技術を生かした建造物や庭園を一堂に見ることができます。市内には他にも貴重な寺社仏閣や文化財が点在し、その全てに先人たちのたどった歴史や思いが深く刻まれています。

夜空に灯る郷土の誇りは
人によって守られ、受け継がれる

約450年も守り伝えられてきた
迫力満点の大提灯で
西尾の夏の夜は幻想的な世界に包まれます。



海魔を払うかがり火から 闇夜に輝く大提灯へ

西尾の夏の風物詩「三河一色大提灯まつり」は、約450年の歴史を誇る、由緒ある祭りです。和紙で作られた6組12張の大提灯には、日本の歴史を題材とした絵巻物と文字が色鮮やかに描かれ、その壮大さと華やかさを見る者を圧倒します。かつて海の魔物を鎮めるために焚かれたかがり火が起源といわれ、安政年間（1855〜1860）にはすでに3メートルを超す大提灯が掲揚されていたよう

です。昭和44（1969）年には、提灯の規模などを理由に、6組12張の大提灯と柱組み一式が愛知県 の民俗資料（有形民俗）文化財に指定されました。

祭りに欠かせない 人の力

「三河一色大提灯まつり」は、猛暑の中、大提灯が揚がるまでの工程を多くの人が支えています。祭り当日の昼、20メートル近くある柱に、屋根形の覆を氏子が万力を使ってつり上げます。その後、

万力やロープで各組2張ずつ大提灯をゆっくりと引き揚げます。提灯は時代の流れとともに大きくなり、現在では、全長6〜10メートルの大提灯に。長さ1・2メートル、重さ80キログラムにもなるろうそくが御神火で献灯された後、大提灯の中につるされる火入れ式で、祭りのピークを迎えます。

「三河一色大提灯まつり」には、地元で息づく古式ゆかしい文化を守り、後世へ残そうとする人の姿があります。時代は移り変わっても、郷土の誇りは守られ、歳月を重ねながら受け継がれていきます。

Hometown pride illuminates the evening sky —A beloved tradition carried on by locals

The Mikawa Isshiki Lantern Festival is said to have started when villagers offered a sacred sword to the village shrine, started a bonfire, and prayed for the expulsion of sea monsters that wrecked their farming fields and threatened human life.

An enormous amount of labor is required to prepare for the festival. The sight of people manually hanging the twelve largest lanterns—5.6 meters in diameter and 10 meters in length—conveys the reverence towards the festival and our ancestors.

3~4月



西尾六万石桜まつり

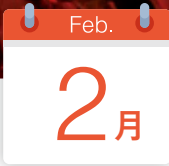
1月



てんてこ祭

古くから受け継がれてきた祭事や盛大に繰り広げられるイベント。西尾市では四季折々に、心と心をつなぐ行事が数多くあります。

人が集い、祝い、祈る。祭りには心を一つにする力がある



鳥羽の火祭り
Toba Fire Festival

1200年の歴史と伝統を誇る天下の奇祭で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。高さ5メートル、重さ2トンの巨大なたいまつ「すずみ」2基の中に納められた神木と十二縄を競って取り出し、その年の天候などを占います。

8月



米津の川まつり



棉祖祭

10月

10月



田貫の棒の手



ムゲンのミライ

子どもたちが伝承する三河万歳

[国の重要無形民俗文化財に指定]
Children inherit the tradition of Mikawa Manzai

新年の訪れを祝福する民俗芸能。現在、西野町小学校の「御殿万歳クラブ」が、新春の舞披露をはじめとした公演活動をするなど伝承しています。

Jul.

7月



西尾祇園祭

Nishio Gion Festival

伊文神社の御神体を乗せたみこしが、市街を練り歩いて、御劔(みつるぎ)八幡宮に渡御します。市民ステージや「踊ろっ茶・西尾!!!」など、さまざまなイベントやパフォーマンスも行われます。

People gather to make wishes and offer prayers. Festivals bring people together

Events can be enjoyed from a wide variety of perspectives, from the history of the event to the wishes conveyed by the event. Once you experience the exciting events throughout the year, you are sure to fall in love with the city of Nishio.

8月



はずストーンカップチャレンジレース

8月



貝吹のかぎ万燈



7月

吉良花火大会

5月



三河一色みなとまつり

伝統と今が交差する
西尾市の祭りやイベント

移り変わる時代の中で織りなされてきた西尾市の祭りやイベント。五穀豊穡や無病息災を祈る神事、城下町ならではの祭礼の他、まちを挙げてのイベントが一年を通して開催されています。古くから地域で伝えられてきたもの、風情や美しさを堪能するものなど、人々の心と心をつなぎ、西尾の地で育まれてきました。たとえ世代が変わっても、伝統の中に今を取り入れ、受け継がれています。

ハワイアンフェスティバル

Hawaiian Festival

年に一度ハワイになるまち、西尾市吉良町。吉良ワイキキビーチが舞台となる夏の一大イベントで、フラダンス発表会や、本場ハワイのダンスショーなどが開催されます。

Aug.

8月



安全は?!
Segurança?

和と努力

Slogan da Segurança
"A segurança é o primeiro passo
para a qualidade."
Segurança é o primeiro passo
para a qualidade.

ものづくりのまち西尾 ただいま進化中

「ものづくりのまち西尾」は、
時代をこえて産業の集積地へと
進化を続けています。

西尾市は、自動車産業から地場産業に至るまで県内有数のものづくりの集積地で、大企業や中小企業が多く立地しています。中でも、ちゅうそく たんそく 鋳造や鍛造、切削、研磨など、金属加工の技術を持つ長寿企業が多く集積しているのが特徴。ベテランから若手へと、熟練の技術が継承され、優秀な人材が育っています。その実績は数字にも表れ、ものづくりに対する底力を物語っています。西尾市の製造品出荷額等は県内54市町村中第10位。うち輸送用機械は県内54市町村中第4

未来への可能性を
無限に広げる底力

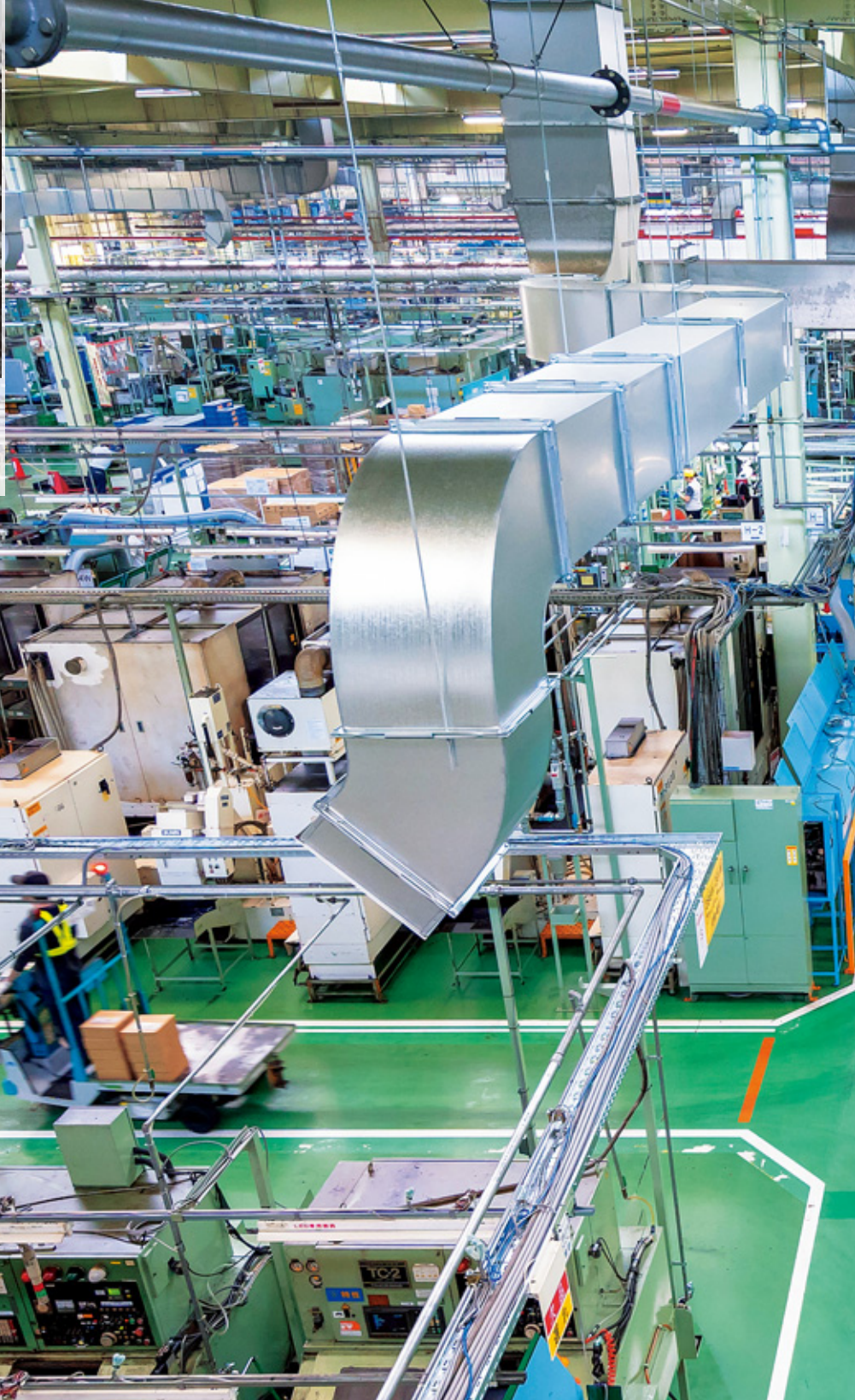
ムゲンの
ミライ

ほんものづくり隊
Authentic Manufacturing Team

「見えない部品」を真面目につくり続ける本物志向のものづくり集団の呼称。企業と西尾市が一体となって「ものづくりのまち西尾」の知名度向上を図っています。



明治時代、矢作川流域で「ガラ紡」と呼ばれる紡績技術が盛んになりました。西尾では水力で糸巻車を回す舟紡績が誕生し、世界中の工業生産を支える礎となりました。



Nishio continues to evolve as a manufacturing city

The textile industry grew in conjunction with the growth of the spinning method known as “Gara Spinning.” The pig iron casting industry has changed with the trends of the time, from temple bells and iron pots to automotive components. These two industries formed the foundation of “the manufacturing city Nishio.”

Nishio is home to corporations in a wide range of industrial fields. The city provides opportunities to develop new products and meet new business partners. The future holds even greater possibilities and evolution for “the manufacturing city Nishio.”

位で、愛知の自動車産業を支える重要な役割を果たしています（経済産業省「平成26年工業統計調査」結果）。

「ものづくりのまち西尾」の鍵を握っているのが企業誘致です。初期投資費用を抑えられる安価な用地、取引先との近接による納期短縮の実現、工場等建設奨励金など優遇制度の充実が企業からの注目を集めています。西尾市の製造業等の工場立地件数は、県内第2位を記録（経済産業省「平成28年工場立地動向調査」結果）。「西尾を選ぶ」企業が増え、「ものづくりのまち西尾」の実力がより確かなものとなっています。

まちの活性化に 必要不可欠な「手」

西尾市の活力を生み出す産業において、キーワードとなっているのが「手」です。繊細で卓越した技術によって作られたものには、使い手や購入者に対する思いが強く宿っています。高い品質は西尾市ならではのブランドとして広く支持され、日本有数の生産量を誇るなど実績にも表れています。

先人たちの唯一無二の技と思いを受け継ぎながら作り続ける限り、西尾市の産業は発展し続けます。



花き

Floriculture

温暖な気候と生育条件が合い、バラやカーネーション、キク、鉢物などの花き栽培は西尾市の特色ある産業として確立。栽培中はもちろんのこと、出荷の段階においても一つ一つ品質を管理し、手間暇かけて市場へと送り出します。



工業

Industrial goods

自動車関連企業の他、生産用機械やプラスチックなど、幅広い業種の企業が立地。最先端技術と熟練の技を継承する優秀な人材に恵まれ、県内屈指の「ものづくりのまち西尾」を支えています。

西尾の産業を支えるのは、 技と思いが宿った「手」

生産者の「手」に宿る熟練の技術や熱い思いは、西尾ブランドを形成する力となり、産業活性化の一翼を担っています。

Agriculture

農業

「西尾の抹茶」をはじめ、イチゴや
キュウリ、米など、さまざまな種
類の農作物を栽培。病害虫被害
への対応、土壌の乾燥対策や除草
作業、作物の防寒対策など、良質
なものを作るために、多くの時間
や人の手がかけられています。



Brewing

醸造

矢作川の清流を生かした米から
作られる酒やみそ、しょうゆ、み
りん、酢など、西尾市は日本有数
の醸造地。各蔵元が先人から受
け継いできた匠の技を駆使して、
豊かな味わいを提供しています。



Commerce

商業

商店街や道の駅など、こだわ
りの商品を購入できる場は人
とじかにふれあえる場でもあ
ります。商品一つ一つに込めら
れた技や思いを多くの人に届
けています。

Nishio's industry is supported by craftsmanship imbued with skill and passion

"Hands-on craftsmanship" is the keyword behind how a wide variety of industries have thrived in Nishio city. Hands-on craftsmanship is required when creating industrial goods, growing agricultural crops, and providing goods to special customers. Through the hands-on craftsmanship of countless individuals, passion and ingenuity is imbued through detailed, advanced technology, agricultural crops, and customers. This craftsmanship and feeling has filled Nishio with vitality and activity.

アートと融合した 注目の島

降り注ぐ陽光、さざなみのやさしい音、吹き抜ける潮風。三河湾に浮かぶ県内最大の島で、自然豊かでゆるりとした時が流れる佐久島には、印象的なアート作品が点在しています。中には雑誌やアニメに登場したものもあり、アートの島として話題となっています。

平成13(2001)年「三河・佐久島アートプラン21」を策定し、アートを活用した島おこしが打ち出されました。島の持つ自然や伝統と、アートとの出会いによって佐久島の活性化を目指し、島民とアーティスト、行政が協働してイベントやワークショップを開催するようになりました。また、島の伝統的な祭りや組み合わせたアートイベントの開催など、島民とアーティスト、観光客が交流できる仕組みを取り入れています。

ゆるりと

時が流れる佐久島で

のんびり

アート巡り

さまざまなメディアで取り上げられアートの島・佐久島は一躍有名に。昔懐かしい風景の中にたえずアートは、都会の喧騒から非日常的な空間へといざないます。



ムゲンの ミライ

島民みんなで 島おこし

Residents work together to invigorate their island

「島を美しくつくる会」では、海岸の清掃や花畑の整備の他、佐久島の名物さつまいもを使った商品を開発。島民が一丸となって、島の新たな魅力づくりに取り組んでいます。

アートに続け！
多彩な活動で島おこし

佐久島では、移住定住の推進にも取り組んでいます。宿泊滞在型の農業体験施設「クラインガルテン」を離島で初めて整備。島暮らしを満喫しながら農業が体験できる場を提供しています。また、島外の小・中学生を受け入れる「しおかぜ通学」では、少人数学級の恵まれた指導体制で、島の豊かな自然とのふれあい、島の人々との交流など、体験重視の教育活動を展開しています。

近年では、移住者が開いたおしゃれなカフェや、自然と手作りを大切にしたマルシェ「39さくの市」を目的地に訪れる人も増えてきています。アートプロジェクトを筆頭に、多彩な活動で地域活性化に取り組む佐久島。のんびりとアート巡りをしながら、佐久島の魅力と活力を体感してみたいかがでしょう。



『おひるねハウス』



『カモメの駐車場』

見ているだけでなく、実際に触れたり寝転んだり、観光客自身もアートの世界に入り込めることが佐久島アートの醍醐味です。

Enjoy a leisurely art tour on Sakushima Island,
a place where time moves a little slower

Known as the "Island of Art," Sakushima Island is located in Mikawa Bay and is the largest island in Aichi Prefecture. Artworks are exhibited in various places throughout the island and can be viewed by the general public. Sakushima Island also holds numerous activities other than art. For example, the island's elementary and junior high schools currently accept children from outside of Aichi Prefecture and the island is developing facilities for hands-on agricultural experience.

Sakushima Island Art Almanac

佐久島アート年鑑

- 1996 有志が「島を美しくつくる会」を設立
- 2001 「祭り」とアートに出会う島をテーマに、活性化を目指す「三河・佐久島アートプラン21」を策定
- 2002～「佐久島空家計画／大葉邸」
- 2003 「宝船さちかぜ」
「ガリバーの目」
「西港歓迎太鼓」
「大和屋観音」
「ノンとビリーだ」
「海神さま」
「むかしむかし」
- 2004 「おひるねハウス」(2013再制作)
- 2005 「カモメの駐車場」
- 2006～「佐久島のお庭」
「アイルランド in 佐久島」
「空の水ー山」
「ずわるとこプロジェクト」
- 2009 アートの力を使って「佐久島弘法巡り」をリノベーション
- 2010 「佐久島歓迎地福開門満」
「イーストハウス」(2018一部再設計・再制作)
- 2011 「西港渡船場待合室リノベーション」
- 2012 「クラインガルテンウエルカムスペース」
- 2013 「佐久島の秘密基地／アポロ」
- 2015 「北のリボン」
「ひだまり庵」
「星を想う場所」
「知識の蜂の巣」
- 2017 「すぐそこ、向こう側」

親子で楽しめる場所がいっぱい

Filled with places enjoyable for families.

愛知こどもの国は「あさひが丘」と「ゆうひが丘」の2つの山からなる、自然を生かした大規模な児童総合遊園。100万平方メートルの広大な敷地の中には、本物の蒸気機関車やゴーカート、全長約100メートルのローラーすべり台など、遊び場が充実しています。平成29(2017)年にオープンした岡ノ山遊ぼっ茶広場は、芝生や遊具、バーベキュー場など、時間を忘れて楽しめる設備が整っています。



岡ノ山遊ぼっ茶広場



愛知こどもの国

遊びたい
訪れたい
暮らしたいまち
西尾

まちと自然が共存し、
親子で楽しめる場所があり、
こだわりの過ごし方ができる。
西尾市には住みよさの魅力があふれています。

西尾市ならではの絶景

Beautiful scenery that can't be seen
anywhere else.

三ヶ根山スカイラインは、沿道をスイセンやアジサイなど四季折々の花が彩るドライブウエー。冬の夜には、眼下に広がる夜景と星がきらめく夜空、カラフルなイルミネーションの幻想的なコラボレーションを楽しめます。



三ヶ根山スカイライン

広い土地に
こだわりの
マイホームを！

A unique home on spacious land.



西尾市の地価は近隣市町の中で安価といわれています。広い土地にこだわりが詰まったマイホームを建てるという夢を後押しします。

誰もが暮らしやすいまちを目指して歩むためには、まちづくりの指針となるべき設計図が必要です。西尾市では、第7次西尾市総合計画後期計画で「自然と文化と人々がとけあい 心豊かに暮らせるまち 西尾」を目指すべき将来都市像に掲げ、まちづくりを進めています。



子育て・教育・文化・スポーツ
Child-raising, education, culture & sports



社会基盤
Social infrastructure



産業振興
Invigorating industry

子どもを生み育てやすい環境を整え、子どもたちの確かな学力と豊かな人間性の育成に取り組んでいます。また、歴史・文化を継承しつつ、魅力ある生涯学習を展開し、地域を支える文化と人を育む環境づくりに努めています。

子育て支援体制の充実

- 生きる力を養う学校教育の充実
- 生涯学習の推進と歴史文化の継承
- みんなが元気になるスポーツの振興
- 地域で取り組む青少年の健全育成

道路ネットワークの構築や公共交通の安定確保に努めています。また、中心市街地の活性化や地域特性を生かした住環境整備を進めるとともに災害に強い都市施設を整備し、利便性と快適性を高める基盤づくりに取り組んでいます。

幹線道路網の整備

- 安全で災害に強いまちづくり
- 利便性の高い公共交通ネットワークの形成
- 快適で魅力ある市街地の整備
- 上下水道の整備

新たな産業の創出や農漁業、商工業、観光などを有機的に連携することで、さらなる活性化が見込まれます。この恵まれた地域資源を有効に活用し、市民が健康で文化的に生活できるよう、活力と魅力があふれる産業づくりを進めています。

自然と文化の観光交流圏づくり

- 特産品開発と地域ブランド化
- 魅力ある商業の展開
- 農業・漁業の振興
- 企業誘致と新産業の振興

6



市民・行政
Residents & government

健全な行財政運営の確立や便利で身近な市民サービスの充実に取り組んでいます。また、市民活動を推進するとともに、市民の声を聴き、積極的に行政情報を公開するなど、市民と行政が共に考え、行動するまちづくりを行っています。

市民と行政の協働のまちづくりの推進

市民と行政の情報共有と情報公開の推進

活発なコミュニティ活動の推進

身近で便利な市民サービスの充実
効率的で健全な行財政運営の確立

5



自然環境・生活
Natural environment & lifestyle

自然環境を保全するための緑化推進や地球温暖化防止対策に取り組んでいます。また、消防や防犯、交通安全などの意識向上に向けた地域ぐるみの活動の推進や関係施設の整備、安全とおいのある環境づくりを進めています。

市民が憩う公園・緑地の整備

自然とともにある
ライフスタイルの推進

河川・海岸の総合的な観光整備

地球環境保全活動の推進

地域ぐるみの
防災・防犯活動の推進

4



健康・福祉
Health & social welfare

地域の医療体制を整えるとともに、一人一人の健康意識を高めながら健康づくりを推進します。また、高齢者や障害者(児)を支えるネットワークや支援体制を構築し、安心して暮らせるための健康・福祉のまちづくりに取り組んでいます。

安心を支える地域医療体制の構築

健康づくり

高齢者が安心して暮らせる
福祉の充実

障害者(児)の自立を支える
福祉の充実

安心のための社会保障

伊勢湾台風襲来



西尾歴史新聞

65th
Nishio History
Newspaper

昭和28(1953)年

12月 西尾市市制施行(県下で14番目)

昭和29(1954)年

8月 幡豆郡平坂町、寺津町、福地村、室場村を合併

昭和30(1955)年

1月 幡豆郡三和村を合併
4月 碧海郡明治村のうち、米津、南中根を合併
5月 西尾市消防本部が設置され、同時に西尾市消防団連合会結成

6月 金蓮寺弥陀堂が国宝に指定

昭和32(1957)年

11月 米津橋完成

昭和34(1959)年

9月 伊勢湾台風襲来、被害総額約100億円

昭和36(1961)年

7月 第1回西尾まつり(現西尾祇園祭)開催

昭和37(1962)年

12月 公明選挙都市宣言(全国で2番目)

昭和38(1963)年

3月 工場誘致第1号の東洋タイヤコード(現東レハイブリッドコード)操業開始

昭和39(1964)年

2月 小説家尾崎士郎逝去
9月 オリンピック聖火リレー西尾隊結成

昭和40(1965)年

11月 市体育館・市民会館完成



一色マラソン大会開催

昭和41(1966)年

1月 西尾市外三町衛生組合発足
3月 第1回一色マラソン大会開催

昭和43(1968)年

2月 三ヶ根山スカイライン完成
8月 寺津町枯木宮貝塚発掘調査が行われる

昭和46(1971)年

5月 青年の家・働く婦人の家(現中央ふれあいセンター)開館

昭和47(1972)年

4月 西三河南部水道企業団発足
7月 西尾幡豆広域市町村圏スタート

昭和49(1974)年

10月 愛知こどもの国開園
11月 皇太子ご夫妻(現天皇、皇后両陛下)が愛知こどもの国を視察

昭和50(1975)年

3月 西尾市憩の農園開園

昭和52(1977)年

8月 西尾市資料館完成

昭和53(1978)年

7月 やすらぎ苑完成

昭和55(1980)年

12月 文化会館完成

昭和57(1982)年

3月 稲荷山茶園公園完成

昭和58(1983)年

8月 西尾市立図書館開館

昭和59(1984)年

4月 一色く佐久島間に初の高速船「さちかぜ」就航

昭和60(1985)年

4月 西尾市保健センター開館

昭和61(1986)年

3月 八ツ面山公園に展望台完成

昭和62(1987)年

10月 新消防庁舎完成

平成元(1989)年

5月 西尾幡豆グリーンロード全線開通

平成2(1990)年

5月 市民病院移転新築オープン



尾崎士郎
記念館開館

- 平成3(1991)年
みどり川で四九朝市スタート
- 4月 西尾幡豆広域圏組合発足
- 平成5(1993)年
4月 一色さかな広場開館
- 10月 総合体育館開館
- 平成7(1995)年
11月 吉良町で第7回忠臣蔵サミット開催
- 平成8(1996)年
4月 西尾城址に歴史公園完成
- 5月 市立看護専門学校開校
- 5月 総合福祉センター開館
- 平成9(1997)年
3月 西尾市ホームページ開設
- 8月 第1回はずストーンカップチャレンジレース開催
- 平成11(1999)年
1月 忠臣蔵を題材にしたNHK大

- 河ドラマ「元祿繚乱」放映
- 5月 いきものふれあいの里開館
- 12月 CATVキャッチネットワークの「西尾・幡豆チャンネル」開局
- 平成12(2000)年
4月 クリーンセンター開所
- 平成13(2001)年
4月 西尾幡豆広域圏組合発足
- ホワイトウェイブ21開館
- 平成14(2002)年
12月 尾崎士郎記念館開館
- 平成15(2003)年
4月 岩瀬文庫リニューアルオープン
- 平成16(2004)年
2月 鳥羽の火祭りが国の重要無形民俗文化財に指定
- 4月 名鉄三河線碧南〜吉良吉田間廃線。代替交通として「ふれんどバス」が運行開始



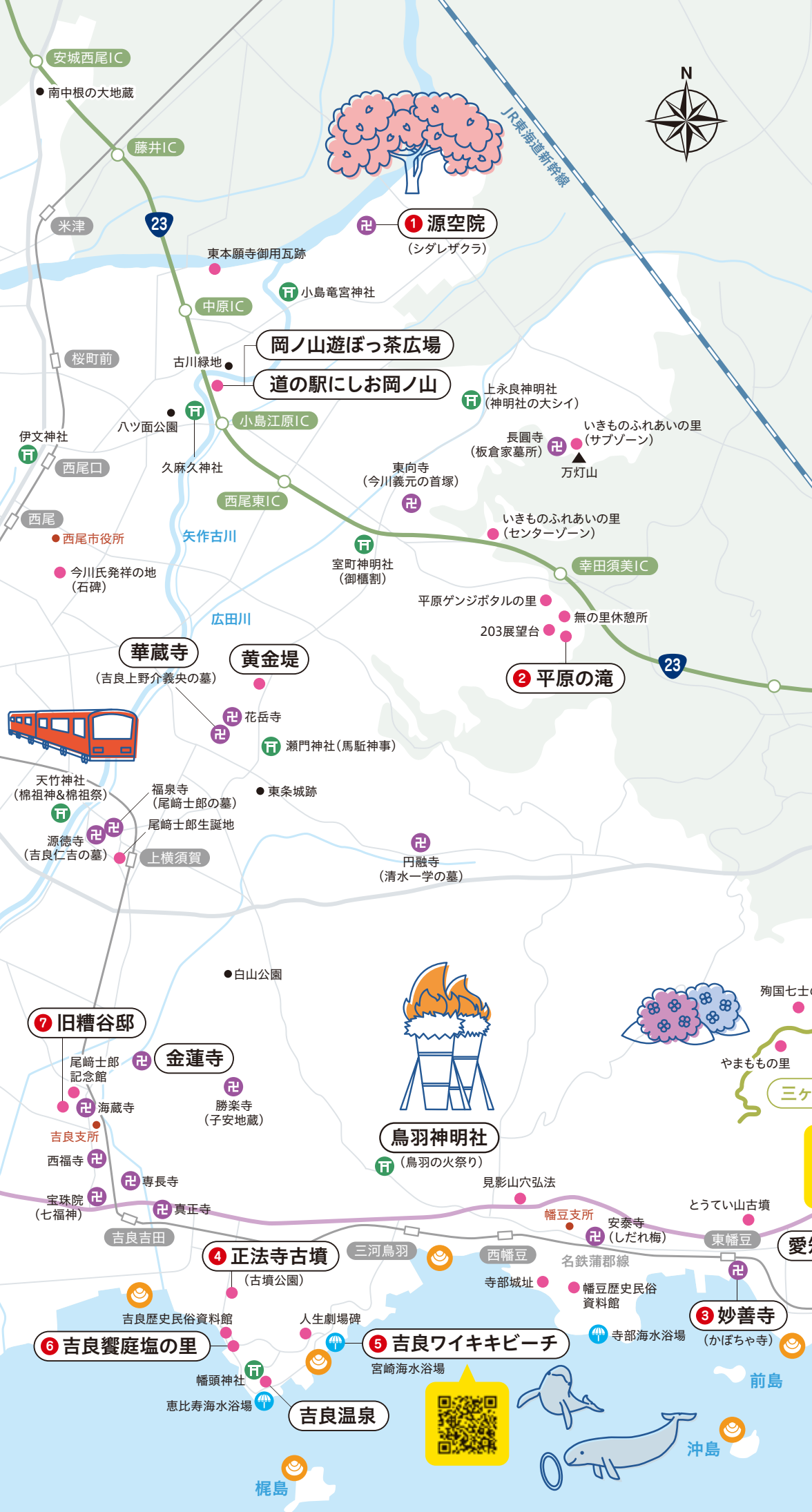
西尾大茶会
開催

- 平成18(2006)年
8月 第1回ハワイアンの夕べ(現ハワイアンフェスティバル)開催
- 10月 「ギネスに挑戦! まちなか1万人西尾大茶会」開催、世界記録達成
- 12月 名鉄鎌谷駅、三河荻原駅廃止
- 平成19(2007)年
10月 10月8日を「おもてなしの日」と宣言
- 11月 「二色産うなぎ」が地域ブランド認定
- 平成20(2008)年
7月 市役所新庁舎完成
- 平成21(2009)年
2月 「西尾の抹茶」が地域ブランド認定
- 5月 第1回三河一色うなぎまつり(現三河一色みなとまつり)開催
- 10月 道の駅にしお岡ノ山完成
- 平成22(2010)年
7月 休日診療所開設
- 8月 27日、西尾市・幡豆郡3町合併協定調印式
- 平成23(2011)年
4月 1日、西尾市と幡豆郡一色町、吉良町、幡豆町が合併
- 平成24(2012)年
6月 市内人口が17万人突破
- 12月 愛知県市町村対抗駅伝競走大会で過去最高の5位入賞
- 平成25(2013)年
12月 山形県米沢市と「友好都市」提携



デンソー
エアリービーズと
協定締結

- 平成26(2014)年
5月 抹茶スイーツ甲子園(現抹茶スイーツ選手権)開催
- 7月 西尾市出身の中日ドラゴンズ岩瀬仁紀投手が通算400セーブ達成
- 平成27(2015)年
12月 第2回「吉良サミット」開催
- 平成28(2016)年
4月 塩田体験館「吉良饗庭塩の里」開館
- 8月 皇太子さまが岩瀬文庫に来館
- 10月 西尾市機能別消防団設置
- 平成29(2017)年
3月 「西尾の抹茶」が地理的表示(GI)保護制度登録
- 4月 デンソーエアリービーズとホームタウンパートナー協定締結
- 岡ノ山遊ぼう茶広場開園
- 西尾市民げんきプラザ開館
- 平成30(2018)年
2月 「三河一色えびせんべい」が地域ブランド認定





5



6



7



8



9



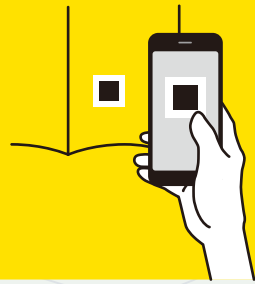
10



11

VRの使い方

スマートフォンやタブレットでQRコードを読み込み、表示されるアドレスをタップすると、360度の景色が表示されます。上下左右360度動かして楽しみましょう。



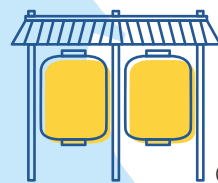
- 潮干狩り
- 寺院
- 神社
- 海水浴場
- 観光地
- 主な施設

多くの人に知ってもらいたい魅力にあふれています。

西尾はみんなに自慢したい魅力の宝庫

Nishio boast a treasure trove of appealing elements

Nishio, a city with a limitless future, is bursting with appeal which we want to convey to even more people.



11 佐久島

- 佐久島クラインガルテン
- 弁天サロン
- おひるねハウス
- 海釣りセンター
- 大浦海水浴場
- イーストハウス



三河一色さかな村

諏訪神社

(三河一色大提灯まつり)

10 一色さかな広場

- 一色支所
- 一色学びの館 (大提灯常設展示館)

本法寺

(亀姫の墓)

高倉神社

(大天狗&天狗祭)

修法寺

(銅造菩薩立像)



9 憩の農園・バラ園

熱池八幡社

(てんてこ祭)

養寿寺

(おかげん)

三河工芸ガラス美術館

西尾市資料館

本丸丑寅櫓

8 西尾市歴史公園



旧近衛邸

実相寺

(花まつり)

西尾市岩瀬文庫

田貫神明社

(棒の手)

中畑八幡社

(おまんこ祭)

稲荷山茶園公園

(八十八夜行事)

紅樹院

名鉄西尾線

北浜川

矢作川

247

矢作古川

247



数字で見る西尾の暮らし

出典:平成29(2017)年 西尾市「西尾の統計」

総人口

171,546人

Total population

男性

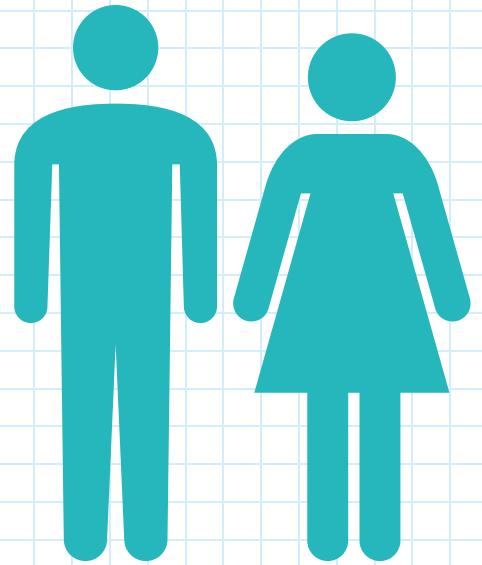
86,754人

Men

女性

84,792人

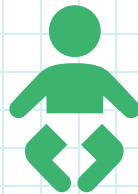
Women



出生数(年間)

1,456人

Number of births (annual)



平均降水量

112mm

Average rainfall



平均気温

17.1°C

Average temperature



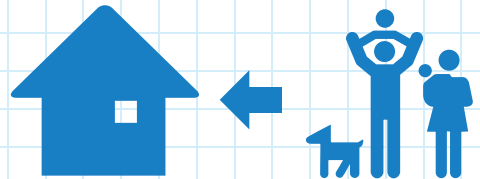
平均最高気温(8月) 28.6°C

平均最低気温(1月) 6.1°C

転入数(年間)

6,512人

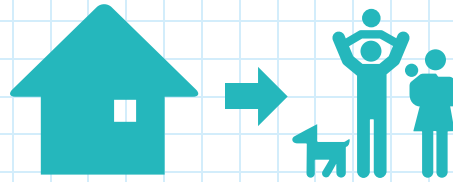
People moving in (annual)



転出数(年間)

5,974人

People moving out (annual)



宅地

19%

Housing

森林

15%

Forests

道路

9%

Roads

河川など

8%

Rivers, etc.

その他

16%

Other

市の木[くすのき]

City Tree: Camphor tree

市民の一般公募で選定。緑豊かな西尾市を次代に伝え、美しいまちづくりを目指そうという願いが込められています。



市の花[ばら]

City Flower: Rose

市制10周年を記念して一般公募で選定。平和と幸福の象徴であり、市民の幸せな暮らしを目指す西尾市にふさわしい花です。



市章[結び井桁]

City Emblem: Tied parallel crosses

旧西尾城主大給松平氏の道中目印として使用していたものと伝えられ、整然とした市街と市民の団結を象徴しています。

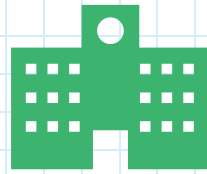


歴史や文化、自然など魅力的な観光資源あふれるまち西尾。合併して17万人都市となり、今年で市制65周年を迎えました。先人たちが築き上げてきた伝統や文化を引き継ぎながら、未来に夢や希望が持てるまちづくりを、市民と企業、行政が一体となった「チーム西尾市」で進めてまいります。

西尾市長 **中村 健**

Nishio is a city overflowing with appealing tourists resources, including history, culture, and nature. This year marks the 65th anniversary of when Nishio merged with surrounding municipalities to form a city of 170,000 people. While protecting the tradition and culture established by our ancestors, our entire city—residents, corporations, and government—will work together as “Team Nishio City” to advance town building with dreams and hopes for the future.

Ken Nakamura
Mayor, Nishio City

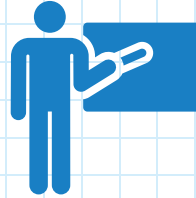


学校数
Number of schools

小学校
Elementary schools **26**校

中学校
Junior high schools **10**校

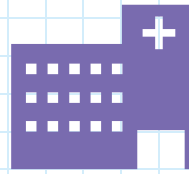
高等学校
High schools **5**校



教員数(小・中・高)

1,478人

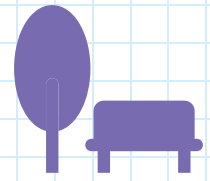
Number of instructors (elementary, junior high, high school)



医療施設数

247施設

Number of medical institutions



都市公園数

63カ所

Number of city parks



医師数(歯科医含む)

280人

Number of doctors (including dentists)



図書館蔵書数

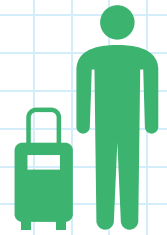
729,968冊

Number of books in library collections

観光客数(年間)

3,555,140人

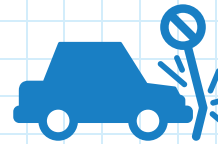
Number of tourists (annual)



交通事故発生件数(年間)

737件

Number of traffic accidents (annual)



土地利用面積

Land usage area

農地

33%

Farmland

出典:平成29(2017)年版 愛知県「土地に関する統計年報」



愛知県の中央を北から南へ流れる矢作川流域の南端に位置。東に三ヶ根山などの山々が連なり、南は三河湾を望みます。平成23(2011)年の合併を経て、17万人都市となりました。





西尾市制65周年記念市勢要覧

発行：愛知県西尾市

〒445-8501 愛知県西尾市寄住町下田22番地

TEL 0563-56-2111

発行日：2018年12月

制作：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

65th Anniversary of Nishio

Published in December 2018

Published by the city of Nishio, Aichi Prefecture

22 Shimoda, Yorizumi-cho, Nishio-shi, Aichi Prefecture 445-8501

TEL: 0563-56-2111

Produced by Japan International Institute, Inc.